

2022年度環境経営レポート

(対象期間：2022年7月～2023年6月)

2023年09月25日 発行



ナベプロセス株式会社

<http://www.nabeprocess.co.jp/>



1

目次

- 表紙・・ 1 ページ
- 目次・・ 2 ページ
- 会社の概要・・ 3 ページ～5 ページ
【①対象事業所②認証・登録範囲③事業所展開④組織図】
- 環境経営方針・・ 6 ページ
- 環境経営目標とその実績・・ 7 ページ～10 ページ
- 環境経営目標とその実績・・ 11 ページ～13 ページ
- 主要な環境経営活動の計画内容及び取り組み結果の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 ページ
- 主要な環境経営活動の中長期目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15 ページ
- 環境関連法規制等への違反・訴訟の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 ページ
- 次年度の取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17 ページ～18 ページ
- その他環境経営活動への取り組みについて 2022年度の取り組み・・・・・・・・・・・・ 19 ページ
- 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20 ページ

会社概要

事業規模

社名	ナベプロセス(株)本社	設立	1979年
住所	香川県高松市木太町2477-1	資本金	8100万円
代表取締役社長	鍋坂信也	従業員数	293名(パート含む)

(2023年9月現在)

①対象事業所

社名	所在地	電話	対象/
		fax	未対象
ナベプロセス(株)本社・工場	香川県高松市木太町2477-1	087-833-7171	対象
		087-862-3331	
ナベプロセス(株)大阪支社・工場	大阪府大東市諸福4丁目5-5	072-889-6100	対象
		072-889-6030	
ナベプロセス(株)岡山営業所	岡山県岡山市南区藤田564-138	086-296-6969	対象
		086-296-7580	
ナベプロセス(株)サテライトヒル	香川県木田郡三木町2876-33	087-840-2121	対象
		087-840-2122	
ナベプロセス(株)東京支社・工場	千葉県柏市大青田691-1	04-7131-0200	対象
		04-7131-0220	
ナベプロセス(株)十川工場	香川県高松市十川東町468-1	087-814-7878	対象
		087-814-7889	
ナベプロセス(株)東京営業所	東京都千代田区神田須田町2-15 KSYビル5F	03-5298-2750	対象
		03-5298-2752	
ナベプロセス(株)静岡営業所	静岡県富士市平垣483第二美鳳堂ビル1F	0545-66-3301	対象
		0545-66-3307	

※十川工場は本社が管理。静岡営業所は大阪支社が管理【常駐者無し】。東京営業所は東京支社が管理【常駐者無し】

- ②認証／登録範囲：グラビアシリンダー及びフレキソ版の製造、販売に係る業務。
 フレキソ印刷製品の製造・販売に係る業務。
 包装・詰め替え・検品などのパッケージング業務

拠点展開

③事業所展開

①



高松本社

②



③



④



⑤

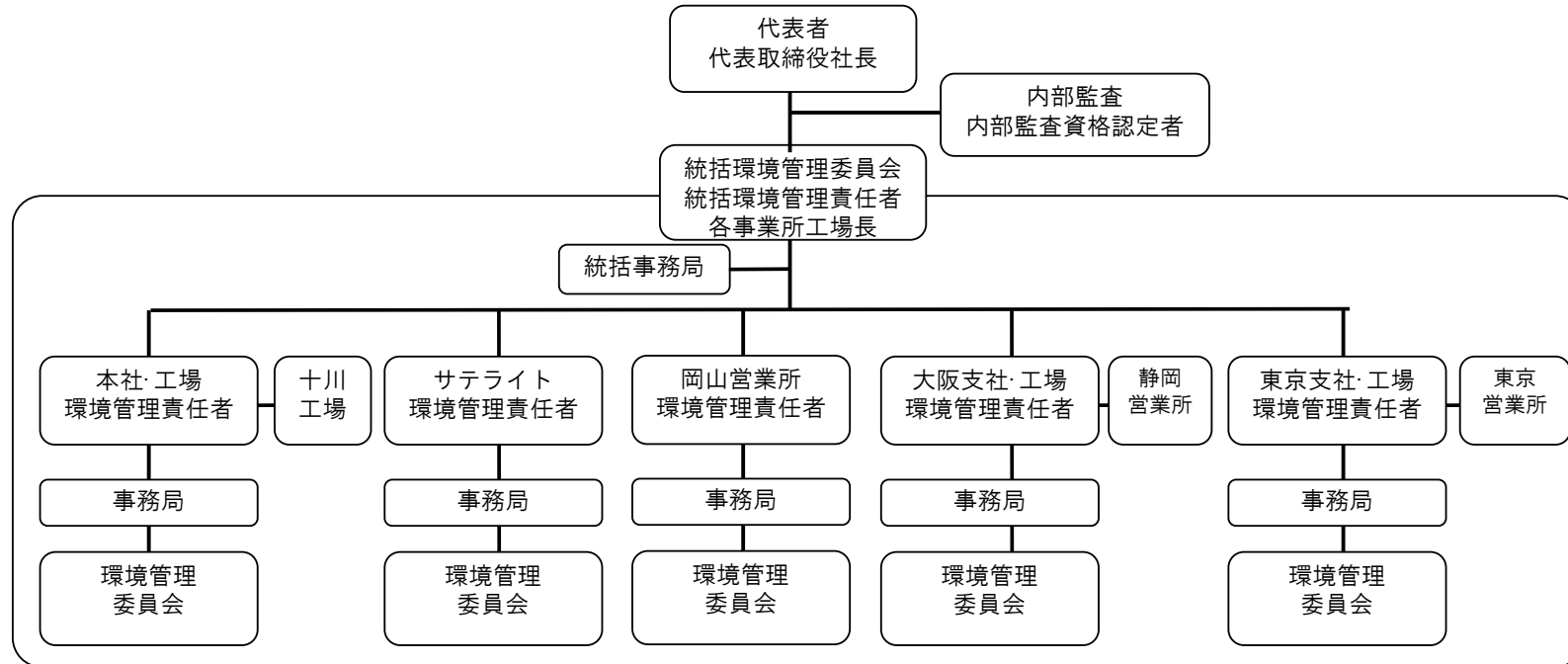


⑥



環境経営システム 組織図

④組織図



※十川工場は本社が管理。静岡営業所は大阪支社が管理【常駐者無し】。東京営業所は東京支社が管理【常駐者無し】

「役割・責任と権限」

- 代表者:社長は、当社の環境経営システムの最高責任者であり、環境経営マニュアル「第一章社長(代表者)の役割・責任・権限」に基づきEA21運営管理を行う。
- 内部監査:内部監査は、当社の環境経営システムがエコアクション21環境経営ガイドラインの要求事項を満たしているかを監査し、且つ環境経営活動が適切に運営管理されているかを監査する
また、その結果をマネージメントレビューで報告する。
- 統括環境管理委員会:統括環境管理委員会は全社の活動方針及び環境目標・環境活動計画、実施体制等を討議し明確化する。
- 統括環境管理責任者:統括環境管理責任者は、全事業所の環境経営システムの運用状況を把握し、代表者への報告及び全事業所の環境管理責任者への運営指示を行う。
- 工場長:工場長は、全事業所の生産・環境設備の改廃、運用の見直しにより、工場全体の生産及び環境設備の整備を行い、環境経営システム運用の推進を行う。
- 環境管理責任者:環境管理責任者は、各事業所の環境経営システムの運用状況を把握し、統括環境管理責任者への報告及び各事業所の環境管理委員への運営指示を行う。
- 統括事務局:統括事務局は、全社統一用の環境関連文書及び記録の作成・審査・承認・改廃の管理を行う。
- 事務局:事務局は、各事業所の環境関連文書及び記録の作成・審査・承認・改廃の管理を行う。またその結果を統括事務局へ報告する。
- 環境管理委員会:環境管理委員会は、各事業所の環境目標及び環境活動計画に基づく活動が適切に行われているかを管理する。

環境経営方針

Challenge for Sustainability”持続可能な発展に挑戦”

1. 基本理念

ナベプロセス株式会社は、グラビア製版・フレキソ印刷・フレキソ製版の事業活動を通じて、環境にやさしい製造工程を目指し、常に目標を持って日々の業務に取り組みます。

2. 基本方針

(1) ナベプロセス株式会社の事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。

- ① 省エネルギー【二酸化炭素排出量の削減】
- ② 廃棄物の分別の徹底と削減
- ③ 紙資源の節約
- ④ 水資源の節減
- ⑤ 化学物質の管理の徹底と使用量削減
- ⑥ 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
- ⑦ 不適合品発生率の低減

(2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、環境汚染の防止に努め、継続的な改善を図ります。

(3) 環境関連法規制等を遵守します。

(4) 具体的な環境目標、及び行動計画を策定します。

(5) この環境方針は社会に公開し、全社員に周知徹底します。

制定日：2008年12月1日

改定日：2021年4月30日

ナベプロセス株式会社

代表取締役社長



6

環境経営目標とその実績

○単年度【2022年度:2022/7/1～2023/6/30】及び中長期

省エネルギー

【二酸化炭素排出量の削減】

取り組み

- 不要な照明はこまめに切る。
- 照明機器の間引き。
- エアコンの温度設定（夏季28℃/冬季20℃）を守る。
- クールビズの実施。
- アイドリングSTOP活動。
- エコドライブ・安全運転講習の受講。

実績及び課題

節電やエアコン温度設定などは環境活動を通じて展開が図れている。電力使用量・ガス使用量は基準年度と比較し増加している。生産量の増加が影響していると推測出来るため、生産量単位のエネルギー使用量を基準とし、今後の環境活動の結果を把握し評価していく。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
エネルギー 使用量 (MJ/100本)	目標	基準年	—	44,568	—	—
	基準年-7%	2020年度	41,448	50,308	78.6%	△
	基準年-8%	2021年度	41,002	51,495	74.4%	△
	基準年-9%	2022年度	40,557	48,415	80.6%	△

△：未達成 ○：達成

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
CO2合計 (Kg-CO2/100本)	目標	基準年	—	2,096	—	—
	基準年-7%	2020年度	1,949	2,406	76.6%	△
	基準年-8%	2021年度	1,928	2,600	65.1%	△
	基準年-9%	2022年度	1,907	2,463	70.8%	△

※二酸化炭素排出係数【関西電力:0.299kg-CO2/KWh】【中国電力:0.462kg-CO2/KWh】

※二酸化炭素排出係数【四国電力:0.526kg-CO2/KWh】【東京電力:0.468kg-CO2/KWh】

Co2排出量(kg-Co2)	全社 総排出量
2017年度	4,987,254
2018年度	5,206,602
2019年度	4,706,217
2020年度	4,602,860
2021年度	5,590,201
2022年度	5,278,342

省エネルギー	全社	原単位
基準生産量 (/100本)	1812	—
基準MJ(MJ/100本)	—	44.568
2022年度生産量 (/100本)	2143	—
2022年度MJ(MJ/100本)	—	48.415

*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量

*基準MJとは、2011年度～2013年度の平均 MJ量

※基準生産量(グラビアシリンダーロール生産本数+フレキシ事業部印刷m数をグラビアシリンダーロール生産本数換算した量+ハイパープリント印刷m数をグラビアシリンダーロール生産本数換算した量)以降、基準生産量と表記する。



環境経営目標とその実績

○単年度【2022年度:2022/7/1～2023/6/30】及び中長期

廃棄物の分別の徹底と削減

取り組み

- 分別ごとの計量を実施する。
- 分別推進で廃棄物の資源化（有価物化）を促進する。

廃棄物処分量	年度	全社			評価
		目標	実績	目標達成率	
(kg/100本)	基準年	—	10.7	—	—
	2020年度	10.0	11.0	89.4%	△
	2021年度	9.8	7.3	125.5%	○
	2022年度	9.7	6.6	131.9%	○

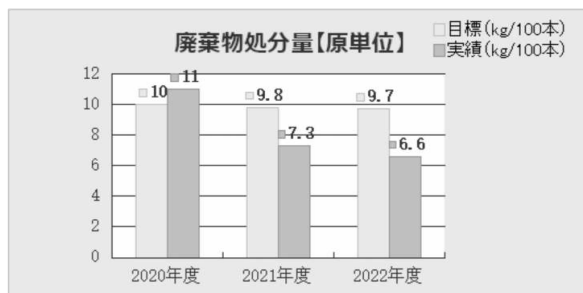
実績及び課題

△：未達成 ○：達成

廃棄物の分別意識は維持出来ている。廃棄物排出量の増加は生産量増加が原因と推測出来るため、生産量に対する廃棄物の排出量を把握するようにする。

廃棄物処分量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準廃棄物処分量(kg/100本)	—	10.7
2022年度生産量 (/100本換算)	2143	—
2022年度廃棄物処分量(kg/100本)	—	6.6

*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量
*基準廃棄物処分量とは、2011年度～2013年度の平均廃棄物処分量



紙資源の節約

取り組み

- ペーパーレス会議の推進。
- 紙出力⇒データ化の推進。
- コピー用紙の両面印刷の推進。

紙使用量	年度	全社			評価
		目標	実績	目標達成率	
(kg/100本)	基準年	—	20.0	—	—
	2020年度	18.6	14.4	122.6%	○
	2021年度	18.4	13.2	128.3%	○
	2022年度	18.2	17.5	103.8%	○

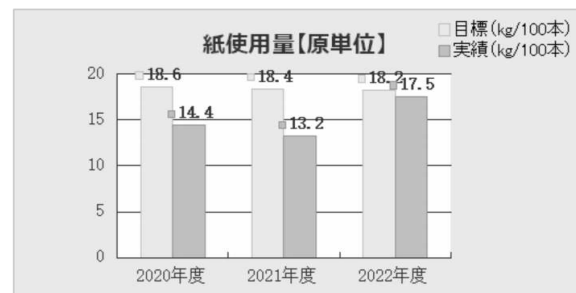
実績及び課題

△：未達成 ○：達成

紙使用量は増加傾向にある。生産量増加に伴う紙使用量の増加と推測出来るが、紙資源を節約する為には青焼きの有償化などを推進し、発行部数の整理を行う。

紙使用量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準紙使用量(kg/100本)	—	20.0
2022年度生産量 (/100本換算)	2143	—
2022年度紙使用量(kg/100本)	—	17.5

*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量
*基準紙使用量とは、2011年度～2013年度の平均紙使用量



環境経営目標とその実績

○単年度【2022年度:2022/7/1～2023/6/30】及び中長期

水資源の節減

取り組み

- 節水の啓発活動の継続活動。
- 漏水の定期検査パトロールの実施。
- 減圧調整の実施

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
水使用量	目標	基準年	—	16.8	—	—
(<i>m</i> ³ /100本)	基準年-7%	2020年度	15.6	16.5	94.2%	△
	基準年-8%	2021年度	15.5	15.6	99.3%	△
	基準年-9%	2022年度	15.3	15.9	96.1%	△

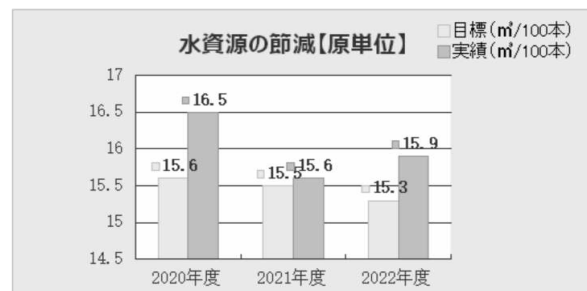
実績及び課題

△：未達成 ○：達成

定期的な漏水パトロールと水使用量の監視で、無駄な水使用は抑制出来ている。今後も継続的な漏水監視と使用量の監視を行う。

水使用量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準水使用量(kg/100本)	—	16.8
2022年度生産量 (/100本換算)	2143	—
2022年度水使用量(kg/100本)	—	15.9

*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量
*基準水使用量とは、2011年度～2013年度の平均水使用量



化学物質の管理の徹底と使用量削減

取り組み

- 溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。
- 使用量削減の工夫を行う。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
化学物質使用量	目標	基準年	—	5.1	—	—
トルエン	基準年-7%	2020年度	4.74	4.0	115.6%	○
(<i>kg</i> /100本)	基準年-8%	2021年度	4.69	3.8	118.9%	○
	基準年-9%	2022年度	4.64	3.6	122.4%	○

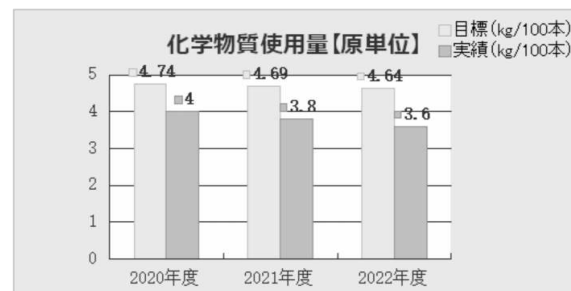
実績及び課題

△：未達成 ○：達成

マルチ校正を使用した立会サービスを東京・大阪支社で展開している。化学物質使用量の増加が懸念されるので継続的な使用量の監視と削減の工夫が必要となる。

化学物質使用量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準化学物質使用量(kg/100本)	—	5.1
2022年度生産量 (/100本換算)	2143	—
2022年度化学物質使用量(kg/100本)	—	3.6

*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量
*基準化学物質使用量とは、2011年度～2013年度の平均化学物質使用量



環境経営目標とその実績

○単年度【2022年度:2022/7/1～2023/6/30】及び中長期

グリーン購入の推進

取り組み

- 資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。
- 新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。

	年度	全社			評価	
		目標	実績	目標達成率		
グリーン購入	基準年	—	209	—	—	
(品目)	基準年+7%	2020年度	223	315	141.3%	○
	基準年+8%	2021年度	225	318	141.3%	○
	基準年+9%	2022年度	228	327	143.4%	○

実績及び課題

△：未達成 ○：達成

EA21の取り組みにより着実にグリーン購入品が増加している。
資材購入費に気を付け、更に切り替えを継続する。

不適合品発生率の低減

取り組み

- 品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。

	年度	全社			評価	
		目標	実績	目標達成率		
不適合品発生率	基準年	—	—	—	—	
(%)	0.2%以内	2020年度	0.2%以内	0.28%	60.0%	△
	0.2%以内	2021年度	0.2%以内	0.21%	95.0%	△
	0.2%以内	2022年度	0.2%以内	0.20%	100.0%	○

実績及び課題

△：未達成 ○：達成

事業所別にみると本社・サテライトヒルで未達成となっている。2023年4月より本社に品質保証部が発足した。全社的に不適合品を管理。品質・環境面を踏まえて発生率削減を目指す。

環境目標と実績について

- 生産量の増減と環境活動の結果には相関関係があるため、生産量に対する単位“原単位”を集計し、目標設定及び達成度を環境活動の評価とする。
- ※①全社集計の実績とする。各事業所の実績は次頁。②生産量(/100本)に岡山営業所^{※1}は含めず、環境負荷のみを含めて全社原単位を算出する。

※1：2015年度まで(販売額÷300万)を原単位とし加算。

環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2022年度:2022/7/1~2023/6/30】

本社工場

△：未達成 ○：達成

		年度	本社			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	5,679	—	—
(kwh/100本)	基準年-0%	2022年度	5,679	5,788	98.1%	△
ガス使用量	目標	基準年	—	7.39	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	7.39	3.80	148.6%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	10.92	—	—
(km/L)	基準年+0%	2022年度	10.92	11.62	106.5%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	23.9	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	23.9	16.38	131.5%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	8.14	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	8.14	7.54	107.3%	○
紙使用量	目標	基準年	—	30.98	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	30.98	32.88	93.9%	△
水使用量	目標	基準年	—	23.42	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	23.42	23.97	97.7%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	8.55	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	8.55	8.62	99.3%	△
グリーン購入	目標	基準年	—	63	—	—
(品目)	基準年+0品目	2021年度	63	66	104.8%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2021年度	0.2%以内	0.29%	56.7%	△

大阪支社

△：未達成 ○：達成

		年度	大阪			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	57,137	—	—
(kwh/100本)	基準年-0%	2022年度	57,137	59,723	95.5%	△
ガス使用量	目標	基準年	—	2,748	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	2,748	2,880	95.2%	△
燃費の向上	目標	基準年	—	11.86	—	—
(km/L)	基準年+0%	2022年度	11.86	10.37	93.3%	△
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	759	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	759	676	111.0%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	10.58	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	10.58	10.23	103.4%	○
紙使用量	目標	基準年	—	200.8	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	200.8	186.7	107.0%	○
水使用量	目標	基準年	—	213.28	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	213.28	245.18	85.0%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	41.77	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	41.77	55.55	65.8%	△
グリーン購入	目標	基準年	—	82	—	—
(品目)	基準年+1品目	2022年度	82	84	101.2%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2022年度	0.2%以内	0.12%	139.0%	○

環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2022年度:2022/7/1~2023/6/30】

岡山営業所

△：未達成 ○：達成

		年度	岡山			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	285.3	—	—
(kwh/300万)	基準年-10%	2022年度	256.7	199.5	122.3%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	12.18	—	—
(km/L)		2022年度	12.18	12.64	103.8%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	3.31	—	—
(kg/300万)	基準年-9	2022年度	3.01	2.06	131.7%	○
紙使用量	目標	基準年	—	6.20	—	—
(kg/300万)	基準年-8%	2022年度	5.70	3.40	140.3%	○
水使用量	目標	基準年	—	0.75	—	—
(m ³ /300万)	基準年-8%	2022年度	0.69	0.41	140.8%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	26	—	—
(品目)	基準年+18品目	2022年度	44	54	122.7%	○

十川工場

△：未達成 ○：達成

		年度	十川			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	176	—	—
(kwh/100ケース)	基準年-4%	2022年度	170	51	169.8%	○
水使用量	目標	基準年	—	0.99	—	—
(m ³ /100ケース)	基準年-4%	2022年度	0.96	0.12	179.7%	○

サテライトヒル

△：未達成 ○：達成

		年度	サテライトヒル			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	44,901	—	—
(kwh/100本)	基準年-0%	2022年度	44,901	38,701	113.8%	○
ガス使用量	目標	基準年	—	1,313	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	1,313	1,157	111.9%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	107	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	107	99.27	107.6%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	31.7	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	31.7	31.3	116.0%	○
紙使用量	目標	基準年	—	12.82	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	12.82	13.22	97.3%	△
水使用量	目標	基準年	—	101.56	—	—
(m ³ /100本)	基準年-0%	2022年度	101.56	95.55	105.9%	○
化学物質使用量	目標	基準年	—	42.03	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2022年度	42.03	46.85	88.5%	△
グリーン購入	目標	基準年	—	31	—	—
(品目)	基準年+4品目	2022年度	35	35	100.0%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2021年度	0.2%以内	0.28%	58.3%	△

環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2022年度:2022/7/1~2023/6/30】

東京支社

△：未達成 ○：達成

	目標	年度	東京			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	5,860	—	—
(kwh/100本)	基準年-2%	2022年度	5,743	4,502	121.6%	○
ガス使用量	目標	基準年	—	3.59	—	—
(m ³ /100本)	基準年-3%	2022年度	3.48	1.12	167.9%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	10.25	—	—
(km/L)	基準年+2%	2022年度	10.56	11.14	105.5%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	46.6	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2022年度	45.7	40.7	110.9%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	40.2	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2022年度	39.4	24.8	137.0%	○
紙使用量	目標	基準年	—	30.3	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2022年度	29.7	18.4	138.1%	○
水使用量	目標	基準年	—	28.3	—	—
(m ³ /100本)	基準年-2%	2022年度	27.7	27.8	99.6%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	7.77	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2022年度	7.60	6.32	116.8%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	84	—	—
(品目)	基準年+1品目	2022年度	85	91	107.1%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2022年度	0.2%以内	0.18%	110.4%	○

◇本社工場・大阪支社・サテライトヒル工場・東京支社
基準年 2021年度

岡山営業所 基準年 2011年度~2013年度平均

十川工場 基準年 2017年度

※各事業所にて基準年を設定し、進捗管理を実施。

◇岡山営業所

産業廃棄物…排出が少ない為、目標設定無し。

化学物質…取り扱いがない為、目標設定無し。

不適合品発生…本社工場に含めて進捗管理を実施。

◇十川工場

一般廃棄物…排出が少ない為、目標設定無し。

産業廃棄物…お客様支給商品の梱包資材(廃プラ)有価廃プラ分の為、廃棄量集計のみ実施。

紙使用量…使用量が少ない為、本社工場の使用量に含めて進捗管理を実施。(FAX、資料コピー用紙のみ)

化学物質…取り扱いがない為、目標設定無し。

主要な環境経営活動の計画内容及び取り組み結果の評価 ○2022年度

	主な環境活動	2022年度	全社			
		評価	年度	目標	実績	目標達成率
エネルギー使用量 (MJ)	○不要な照明はこまめに切る。	○	基準年	—	44,568	—
	○照明機器の間引き。	○	2020年度	41,448	50,308	78.6%
	○エアコンの温度設定（夏季28℃/冬季20℃）を守る。	○	2021年度	41002	51,495	74.4%
	○クールビズの実施。	○	2022年度	40,557	48,415	80.6%
	○アイドリングSTOP活動。	○				
水使用量 (m ³)	○エコドライブ・安全運転講習の受講。	△				
	○節水の啓発活動の継続活動。	○	基準年	—	16.8	—
	○漏水の定期検査パトロールの実施。	△	2020年度	15.6	16.5	94.2%
	○減圧調整の実施	○	2021年度	15.5	15.6	99.3%
廃棄物処分量 (t)			2022年度	15.3	15.9	96.1%
	○分別ごとの計量を実施する。	○	基準年	—	10.7	—
	○分別推進で廃棄物の資源化（有価物化）を促進する。	○	2020年度	10.0	11.0	89.4%
	○版カバーの再利用の促進し廃棄物の削減に取り組む。	○	2021年度	9.8	7.3	125.5%
化学物質使用量 トルエン(t)			2022年度	9.7	6.6	131.9%
	○溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。	○	基準年	—	5.1	—
	○溶剤使用量削減の工夫を行う。	○	2020年度	4.74	4.0	115.6%
			2021年度	4.69	3.8	118.9%
紙使用量 (t)			2022年度	4.64	3.6	122.4%
	○ペーパーレス会議の推進。	○	基準年	—	20.0	—
	○紙出力⇒データ化の推進。	○	2020年度	18.6	14.4	122.6%
	○コピー用紙の両面印刷の推進。	○	2021年度	18.4	13.2	128.3%
グリーン購入 (品目)			2022年度	18.2	17.5	103.8%
	○資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。	○	基準年	—	209	—
	○新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。	○	2020年度	223	315	141.3%
			2021年度	225	318	141.3%
不適合品発生率 (%)			2022年度	228	327	143.4%
	○品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。	△	基準年	—	—	—
			2020年度	0.2%以内	0.28%	60.0%
			2021年度	0.2%以内	0.21%	95.0%
		2022年度	0.2%以内	0.20%	100.0%	

※中長期目標は、基準年実績に対し
【2020年度は-7% 2021年度は-8% 2022年度は-9%とする。】

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。
※生産量100本単位での環境活動結果

主要な環境経営活動の中長期目標

○2023年度

	主な環境活動	2022年度	年度	全社		
		評価		目標	実績	目標達成率
エネルギー使用量 (MJ)	○不要な照明はこまめに切る。	○	基準年	—	44,568	—
	○照明機器の間引き。	○	2023年度	40,111		
	○エアコンの温度設定(夏季28℃/冬季20℃)を守る。	○	2024年度	39,665		
	○ケールビズの実施。	○	2025年度	39,220		
	○アイドリングSTOP活動。	○				
水使用量 (m ³)	○エコドライブ・安全運転講習の受講。	△				
	○節水の啓発活動の継続活動。	○	基準年	—	16.8	—
	○漏水の定期検査/パトロールの実施。	△	2023年度	15.1		
	○減圧調整の実施	○	2024年度	14.9		
廃棄物処分量 (t)			2025年度	14.8		
	○分別ごとの計量を実施する。	○	基準年	—	10.7	—
	○分別推進で廃棄物の資源化(有価物化)を促進する。	○	2023年度	9.6		
化学物質使用量 トルエン(t)			2024年度	9.5		
			2025年度	9.4		
	○溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。	○	基準年	—	5.1	—
	○溶剤使用量削減の工夫を行う。	○	2023年度	4.59		
紙使用量 (t)			2024年度	4.53		
			2025年度	4.49		
	○ペーパーレス会議の推進。	○	基準年	—	20.0	—
	○紙出力⇒データ化の推進。	○	2023年度	18.0		
不適合品発生率 (%)	○コピー用紙の両面印刷の推進。	○	2024年度	17.8		
			2025年度	17.6		
	○品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。	△	基準年	—	—	—
			2023年度	0.2%以内		
			2024年度	0.2%以内		
			2025年度	0.2%以内		

※中長期目標は、基準年実績に対し
【2023年度は-10% 2024年度は-11% 2025年度は-12%とする。】

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。
※生産量100本単位での環境活動結果

環境関連法規制等への違反・訴訟の有無

関連法規制	適用される事項	本社	サテライト	大阪	岡山	東京	遵守評価
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するように努める。	✓	✓	✓	✓	✓	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出の抑制のための措置を講ずるよう努め、国や地方公共団体の施策に協力する。	✓	✓	✓	✓	✓	○
エネルギー使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)	エネルギー使用状況の届け出、エネルギー管理統括者選任届出、エネルギー管理企画推進者選任届出、中長期計画書提出、定期報告書提出。	✓	✓	✓	✓	✓	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	委託契約の締結。マニフェストの交付と5年間の保存義務。保管場所に掲示板の設置。	✓	✓	✓	✓	✓	○
特定工場に於ける公害防止組織の整備に関する法律	特定の業種のうち特定の施設を設置している工場(特定工場)を設置している事業者・特定事業者として、公害防止統括者の選任/届出・公害防止管理者の選任/届出	✓	✓	✓	-	✓	○
騒音規制法	規制基準の厳守	✓	-	✓	-	✓	○
振動規制法	特定施設の使用、変更の事前届け出	-	-	✓	-	-	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設の使用が廃止された時や土壌汚染により健康被害が生ずるおそれがあると都道府県知事が等が認めたときには土地所有者等は調査・報告する義務。	✓	✓	✓	-	✓	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	化学物質管理指針に留意することなど。	✓	✓	✓	-	✓	○
消防法	防火管理者の選任及び届出。危険物貯蔵施設、取り扱い施設の届け出。	✓	✓	✓	-	-	○
毒物劇物取締法	業務上取扱者劇物の保管及び管理	✓	✓	✓	-	✓	○
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則・特定化学物質障害予防規則の順守	✓	✓	✓	-	✓	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	小売業者の引き取り義務	✓	✓	✓	✓	✓	○
NOx・PM法	NOx・PM排出基準の順守	-	-	✓	-	-	○
下水道法	排出基準の厳守	✓	-	✓	-	✓	○
大阪府化学物質管理制度	管理化学物質の把握・届け出(H23年度～)	-	-	✓	-	-	○
水質汚濁防止法	排水基準の順守・特定施設の設置の届出・許可・申請等	-	✓	✓	-	✓	○
浄化槽法	設置の届出・保守点検、定期検査の実施	-	✓	-	-	-	○
小型家電リサイクル法	パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等使用済み小型家電の再利用促進	✓	✓	✓	✓	✓	○
フロン排出抑制法	全ての第一種特定製品は簡易点検(3ヶ月に1回以上)圧縮機の定格出力が7.5kw以上の機器には定期点検(1年に1回以上)を実施。記録を保管する。	✓	✓	✓	✓	✓	○

環境関連法規制等への違反はありません。環境関連法規制等の遵守状況について定期的に評価し、その結果問題はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。訴訟等もありません。

次年度の取り組みについて

2023年度の取り組み

省エネルギー

【二酸化炭素排出量の削減】

取り組み

- 節電・節ガスの継続的な活動
- アイドリングSTOP活動。
- エコドライブ・安全運転講習の受講。
- 太陽光発電システム導入⇒設置容量305kW
- ※サテライトヒル第三工場屋根上に設置予定（2023年1月）

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。

環境活動

取り組み

- 社外清掃などに継続参加し、地域貢献に努める。

廃棄物の分別の徹底と削減

取り組み

- ポジ袋（原稿保管）を廃止し、使用量及び廃棄物削減を実施する。

紙資源の節約

取り組み

- DocuWorksを使用し、マルチディスプレイによる業務に変更し紙の使用量削減を実施する。

次年度の取り組みについて

2023年度の取り組み

水資源の節減

取り組み

- 漏水の定期検査パトロールの実施。
- 節水の啓発活動の継続活動。

化学物質の管理の徹底と使用量削減

取り組み

- マルチ校正機による立会い校正及び浅版化の推進により環境負荷低減の提案を行う。
- 溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。

不適合品発生率の低減

取り組み

- 品質管理（NQS）の取り組みにより不適合品発生を低減させる。

グリーン購入の推進

取り組み

- 資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。
- 新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。

その他環境経営活動への取り組みについて 2022年度の取り組み

ナベプロセス(株)サテライトヒル第三工場 自家消費型太陽光発電設備



太陽光発電システム	825KT370
太陽電池モジュール合計出力	305.250kW
システム最大出力【高圧】	261.0kW
年間発電量の目安	392.939kWh
CO2削減量	180.67t

2023年2月16日より運用開始

	太陽光	使用量	合計	削減率
2月	12,776kwh	111,174kwh	123,950kwh	10.3%
3月	38,665kwh	257,999kwh	296,664kwh	13.0%
4月	40,001kwh	239,324kwh	279,325kwh	14.3%
5月	45,382kwh	245,974kwh	291,356kwh	15.6%
6月	36,614kwh	283,431kwh	320,045kwh	11.4%
合計	173,437kwh	1,137,902kwh	1,311,339kwh	13.2%

代表者による全体評価と見直しの指示 2022年度

2022年度は円安の影響もあり、インバウンド訪日外客数が増加し、インバウンド消費も初めて5兆円を突破、3次産業は順調な回復が行えたが、国内需要の動きは足踏みが続いており、当社のような中小製造企業にとっては、エネルギー、原材料の高騰に対する負担増が、目下の重大課題となっている。

項目	目標達成率(原単位)	項目	目標達成率(原単位)
1. 省エネルギー	80.6%	5. 紙使用量の削減	103.8%
2. 水資源の節減	96.1%	6. グリーン購入の推進	143.4%
3. 廃棄物の削減	131.9%	7. 不適合品発生率の低減	100%
4. 化学物質使用量の削減	122.4%		

全体的に環境活動の成果が目標達成率により確認でき評価できる。
次年度より、DXに連動したアナログ校正のデジタル化を推進してほしい。
特に、画像部門におけるアナログ校正(青焼・色校正)においての、デジタル化により、配送業務の抑制、CO2とコスト負担の削減の両立を目指してください。

※環境経営方針・実施体制については変更なし。

